



お元気ですか

志村 たかよし です

第536号 2011年4月3日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

# 防災対策の窓口（中央区）をご紹介します

東日本大震災の被災地では、先の見えない過酷な避難生活と困難な救援活動がつづいており、国の総力をあげた救援・復興支援が求められています。

「東京で大地震があったとき大丈夫だろうか」という心配の声も寄せられています。

また、福島原発事故も深刻な実態が次々と明らかになり、多くの方が不安を募らせています。

自然災害である地震は止めることはできませんが、震災をくいとめることはできます。

いのちと暮らしを守る「福祉と防災のまちづくり」を進めると同時に、ご家庭や事業所での防災対策も重要になっています。

その準備に少しでもお役に立てればと、防災対策等の中央区の窓口をご紹介します。

なお、私に直接ご連絡いただいても結構ですので、お気軽にご相談ください。

- 防災用品のあっせん
- 家庭用防災パンフレット「わが家わがまちの地震防災」
- 高層住宅防災対策「震災時活動マニュアル策定の手引き」
- 事業所防災パンフレット
- 事業所従業員向け防災パンフレット
- 防災拠点活動マニュアル

防災課普及係  
3546-5510

- 木造住宅の簡易耐震診断
- 耐震診断助成制度

建築課構造係  
3546-5459

- 家具類転倒防止器具の設置

高齢者…高齢者福祉課在宅サービス係 3546-5355

障害者…障害者福祉課障害者福祉係 3546-5389

- 災害時地域たすけあい名簿への登録 福祉保健部管理課庶務係 3546-5342

- 放射能について 中央区保健所 代表 3541-5936

- 資金繰りなどの経営相談 商工観光課相談融資係 3546-5333

- その他、お問い合わせは 中央区役所 代表 3543-0211 までご連絡ください。

# 豊洲新市場予定地 90ヶ所以上で液状化

90ヶ所以上に及ぶブルーシートで覆われた液状化の場所 3月23日撮影



## 築地市場は築地で発展を

3月11日の地震によって豊洲新市場予定地では、90ヶ所以上の場所で液状化が起り、あらためて地震に弱い地域であることがうきぼりにされました。

現場に都の職員がかけつけ、液状化した場所はブルーシートで覆われましたが、市場予定地は、あちこちにブルーシートが散在し、液状化現象の被害を目の当たりにできません。



市場予定地の汚染物質は、相当変動しているはずで、土壌汚染の再調査が必要です。

日本共産党都議団が再調査を求めても、東京都は「液状化対策をとるから大丈夫」という非科学的で説得力のない答えをくりかえすばかりです。

### びくともしなかった築地市場

一方、築地市場では液状化現象は起きませんでした。

東京新聞では仲卸業者の「築地市場はびくともしなかった。店の発泡スチロールひとつ落ちなかった」という声を紹介しています。

党都議団が、地震後の築地市場を調査した結果、モルタルの一部はがれた所があるものの、大きな損傷もなく、市場施設に一定の耐震性があることが証明されました。都議会で、自民、公明、そして

「変質」した民主党議員の賛成で、来年度の移転関連予算は可決しましたが、移転は確定していません。

なぜなら、最終的に新市場の認可をするのは農水大臣で、政府の答弁でも土壌の安全性と市場関係者や消費者の理解が得られなければ認可されないことになっています。

### 中央区は「移転反対」に

#### 立ち戻るべき

いま、区長と日本共産党以外の会派は「移転」後の市場跡地活用案を東京都に売りこんでおり、まさに「移転推進派」になりました。しかし、今回の豊洲の状況をもふまえ、「移転反対」に立ち戻るべきです。

「食の安全」「地域経済の発展」「市場の役割を守る」ために、築地市場は築地で発展させましょう。

「意見」「要望」など、お気軽に「連絡ください」(03-6360-0909)